

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	13:30
コート	Hコート	第4試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	甲木 善徳	
副審	井上 翼	

TEAM A		TEAM B																				
宮崎商業 52	<table border="0" style="font-size: 2em;"> <tr><td>{</td><td>19</td><td>1st</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>11</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>3rd</td><td>26</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	{	19	1st	5		11	2nd	16		13	3rd	26		9	4th	16		OT			63 東海大福岡
{	19	1st	5																			
	11	2nd	16																			
	13	3rd	26																			
	9	4th	16																			
	OT																					
宮崎4位		福岡3位																				
●		○																				

【BOXスコア】

TEAM A		宮崎商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	鬼塚 小雪	◎ 14	1	2	7	1	
5	田之上 涼香	○ 5			5	3	
6	日高 馨	○ 10		4	2	3	
7	内倉 穂香	○ 10		5		5	
8	日高 美祐	6	2			1	
9	大野 紗夜	0					
10	萩元 磨	0					
11	桑野 彩夏	○ 7	1	2		3	
12	渡邊 彩花	0					
13	安達 詩音	0					
14	久保 美陽	0					
15	長谷川 千鶴	0					
16	中間 莉子	0					
17	本田 優花	0					
18	濱砂 晴香	0					
コーチ	大浦 慎一						
合計		52	4	13	14	16	

TEAM B		東海大福岡高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	緒方 憊乃	◎ 8		3	2	4	
5	田口 璃々花	0					
6	島 濤七	4		1	2	1	
7	島崎 桜	○ 9		4	1	3	
8	井浦 菜依	0					
9	新原 穂ノ香	0					
10	稲福 七海	○ 9	1	3		2	
11	内藤 唯	○ 24	5	3	3	1	
12	竹元 琴音	4		2		3	
13	中山 涼	0					
14	榊 歩純	0					
15	木寺 智美	○ 3		1	1	2	
16	松本 舞星	○ 2		1		4	
17	山口 サクラ	0					
18	石川 さくら	0					
コーチ	宮崎 優介						
合計		63	6	18	9	20	

【戦評】

全九州春季大会1回戦、宮崎県4位 宮崎商業 対 福岡県3位 東海大福岡 との対戦。宮崎商業のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#11、東海大福岡のスターティングメンバーは、#7、#10、#11、#15、#16で試合開始。両チームともスピーディーな攻撃を展開するが、互いに激しいマンツーマンディフェンスで相手に得点を許さず、3分半スコアレスのまま動かない。重い展開を最初に破ったのは、宮崎商業#11。攻めあぐねる東海大福岡に対し、鋭いドライブや#6のインサイドショット、#11の3Pなどで加点した宮崎商業が19対5で第1Qを終えた。第2Qに入り、東海大福岡はマッチアップゾーンで宮崎商業のリズムを崩すが、得点をあげることができない。宮崎商業は苦しみながらも、要所で#7の速攻、#4の3Pが決まり、24対5と突き放す。ここから東海大福岡は#11、#12が得点をあげ、激しいディフェンスで相手のショットクロックバイオレーションを誘発して流れを変えることに成功。じわじわと得点差が縮まり、30対21、宮崎商業9点リードで前半が終了した。第3Qに入ると宮崎商業がオフェンスリズムを失いターンオーバーが続く。東海大福岡#11の3P、#6のゴール下などで加点し、3Q5分に30対31と逆転。緊迫感が高まる中、一進一退の激しい攻防が続く、43対47、東海大福岡4点リードで最終Qを迎えた。第4Q、東海大福岡#11、#10の得点で43対52と点差が広がり、宮崎商業はタイムアウトで流れを変える。しかし、勢いに乗る東海大福岡は、#4、#10の速攻などで流れを引き戻し、主導権を渡さない。あきらめない宮崎商業は懸命に食い下がり反撃するが、東海大福岡は、24得点を挙げた#11の活躍などで宮崎商業を振り切り、52対63で試合終了。

【戦評記者】 川口 喜巨
福岡県バスケットボール協会